



# 年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【下関市立王江小学校】  
氏名【中尾 優莉】

## 青島について

青島は、中国の山東省の中にある市です。人口はおよそ900万人ぐらいです。市の歴史は120年ほどであまり長くはなく、昔はドイツの占領下であり、その前は小さな漁村でした。青島ビールが有名で1891年といふかなり前からつくられています。また、青島の道の名前は、中国のさまざまな場所の地名がとられています。町なみはドイツ風の建物と高いビル街があるところがあり、とてもきれいです。



## 現地で食べた料理

料理は、中国のいろいろな地域の料理や、ドイツ・イタリア料理など、ちがう国のものも食べました。特に印象に残ったのが飲茶料理です。肉まんや、あんまんなどができました。また、焼餃子もできて、まわりの羽根がすごいいました。

中国に行って食べた中で一番おいしかったです。



## 日本国総領事館・青島市教育局について

日本国総領事館について  
日本国総領事館はビルの45階にあり、日本人のパスポートの更新や、中国に住んでいる日本人むけの災害メールをだしたりしています。警備がとても厳重でおとろきました。

## 青島市政府教育局について

青島市政府教育局は、青島のすべての学校の管理をしているところです。青島にいる学生は全部で170万人いるそうです。



# 現地の小学生の人と交流をして

青島に行、いろいろな人と交流をしましたが、中国の人はとても頭が良いなと思いました。英語も、ものすごく上手で、すごく話しかけてくれました。それに加えて運動能力も高く、いろいろな人がサッカーやバスケットなどをしていました。また、剣のようなものや、チアダンスをしている人もいて、すごかったです。書道や琴も、本場だけあってとても上手で、同じ小学生とは思えませんでした。でも、中国の人の名前も知り、いろいろなことをしゃべるのが、一番楽しかったです。中国側のおどりの説明をしてくれたこともうれしかったです。



## 日本人学校の人と交流をして

日本人学校の人と交流をした時は、まるで日本で授業を受けているようでした。いろいろ転校や転入をして来る人は多いらしいですが、みんな仲が良くて、素敵だなと思いました。

## 買い物体験で

## 自分の感想まとめ

中国でのお金の単位は「元」です。1元がおよそ15円程で、日本より物価が安いです。買い物



体験はイオンでやりましたが、まず中国にイオンがあることにおどろきました。また中に入って買い物をしていると、日本のおかしである「ポッキー(中国で百奇)」、「オレオ(中国で奥利奥)」もありました。いろいろな企業がとなりの国、中国でもやっているのを知って、すごいと思いました。また中国は物価が安かったので、いろいろな物がたくさん買えました。ちなみに中国語で「ポッキー(百奇)」は、「バイチ」たそうです。

中国に行ってみて、私は中国の人はやさしいことが分かりました！実際に親切な人や、やさしい友達もたくさんできました。だから、周りの人にも、中国の人はやさしいということをおしえてあげたいです。



# 令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【豊浦】

氏名【永野夏奈】

## 日本人学校

日本人学校は、親の仕事などで、青島に来た小、中学生を対象にした学校です。昨年(2018年)に創立15周年をむかえ、学校に「パコたお」という、マスコットキャラクターをつくりました。学校中にパコたおの絵があて、楽しい気分になりました。運動会では、1年から4年生が「ソーラン節」、5年から中学3年生が「狂言」をします。中国にいながらも、日本の文化を体験できて、すごいと思いました。音楽室には日本の楽器もそろっていましたが、海外のため、本体の値段よりも運送費の方が高くなるそうです。

## 在青島日本国総領事館

領事館には、日本人12人、中国人14人が働いています。日本人は中国語を、中国人は日本語をしゃべることができ、どちらでも会話をすることができるようです。領事館では青島に任人している日本人の安全を守っています。大きな事故や災害などが起きたとき、お知らせをします。2009年に開館し、山東省を主に担当していて、日本人のパスポートの発行や中国人が日本に行くためのビザを発行しています。又、日本文化の紹介もしています。日本食や柔道、三味線、にひな人形、浴衣の着付け体験もしています。中国の人達に、日本文化を知ってもらえる場所があり、とてもうれしいです。

## 婦人児童活動センター

婦人児童活動センターでは、2つのグループがおどりをひろうしてくれました。私は、2つ目のグループの衣装を着せてもらいました。が、厚くて、重くて、とても動きづらかったです。それでもみんな、この衣装を着て、まわりのおどりをしていたので、すごいなあと思いました。又、おどりの一部を教えてもらってそれをみんなでおどったのは、とても楽しかったです。7月16日、おどりのときに、青島の町を案内して、じしゃくをもらって、とてもうれしかったです。仲良くなることができました。パコたおは初めて見せて、とても喜んでくれました。でも、とても楽しくおどることができました。

クイズは失敗したところもあったけれど、みんな楽しそうに答えてくれたのが、とてもうれしかったです。

みんなで写真をとろう！



# 町なみ

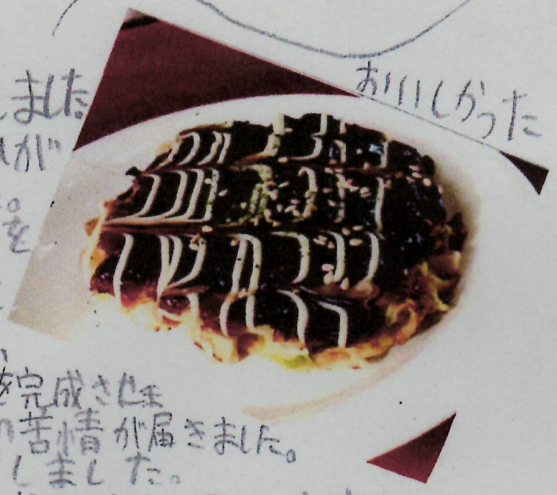
青島市は、ほとんどの建物が赤レンガづく  
 りで、道路には、緑の木々ホテルからは、青い海が  
 見える町です。木は、アラタナスやヒマラヤスギ  
 が花は、つばきがたくさん植えてあります。  
 今から25年、26年前はビルはなく、果樹園が  
 ある、田舎でした。でも、今は逆に、ビルばかりです  
 町にある木々には、虫よけで、白い防虫障が、ぬってあります。



## お花

# オタフク工場見学

オタフク会社は、1922年に、スーパーとしてた人生しました  
 当時は酢の開発を始めました。けれど、原爆のひが  
 いにあててしまいます。それでも、酢を再開発しました。  
 その後、ソースづくりを開始します。当時ソースは酢を  
 使っていたので自分の会社の酢を使って、ソースを  
 つくりました。そのころ、鉄板屋を始めた会社は、  
 簡単につくれるものとして、今のお好み焼きのベース完成させ  
 ました。ソースをかけてみるとソースが落ちるや、すばいなどの苦情が届きました。  
 なので、とろみをつけ、甘みをたして、今のソースが完成しました。



ソースの原料には、デーツやナツメなどが入っています。  
 当時、砂糖はとても高価なものでした。なので代わりに、デーツとい  
 うさばくの果物がさとうの変わりとして使われてきた。デーツは、今では  
 かかせない食材です。ほかにも、シナモンや桃、又、たくさんの調味  
 料を配合したものも入れます。  
 オタフクソースはいつも、使うので、ソースのことが分かれてよら  
 いです。良い思い出になりました。

# 最後に

私は、この派遣研修に参加できたことを、とてもうれしく思います。  
 たくさんのことを家族やしんじき、又、友達に教えることができて  
 とてもうれしです。今回の研修でとても海外に興味かわきました。  
 また、海外に、行ってみたいです。将来、国際関係のお仕事にもつ  
 いてみたいです。

本当に、ありがとうございました！！



# 令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【熊野小学校】  
氏名【濱口 怜】



青島膠州湾大橋(ちんたおこうしやうわんおおはし)  
青島膠州湾大橋は二十六・七キロメートルの海上橋で、二〇二一年六月三十日に膠州湾接続プロジェクトの一環として開通しました。バスの中から見た景色は、すごい絶景で心がすがすがしくなりました。

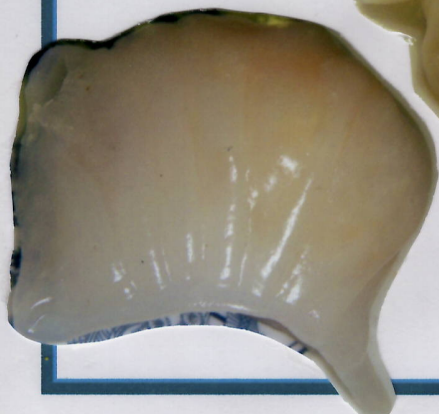
町の木の下が白いわけ？。

一番の理由は、害虫防止のため、石灰でぬっているというところとです。他にも、景観のため、公共工事の一貫、管理区域だという表示などと、わけがあります。



## 餃子について

青島は、餃子があります。あまり食事には、出ないえうです。そのかわりに「水餃子」が出るそうです。水餃子は、皮が厚く、もちもちしていて中国の人はよく黒酢につけて食べるそうです。中国の水餃子は、日本よりもおいしかったです。



# 現地の小学校

ぼくたち中国派遣研修団は、五日間で三つの小学校を訪問しました。中国全てのグラウンドが芝生とタータンでできていろいろのことになりました。

また、セブンぐらいで

「理合」を弾いている

ところを見ました。

た。日本にも理合

は古くからあつ

るので、一緒だ

なと思いい親近

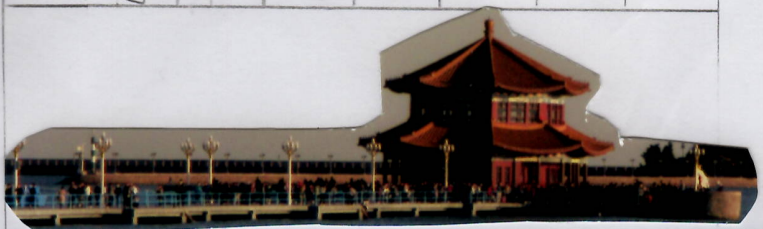
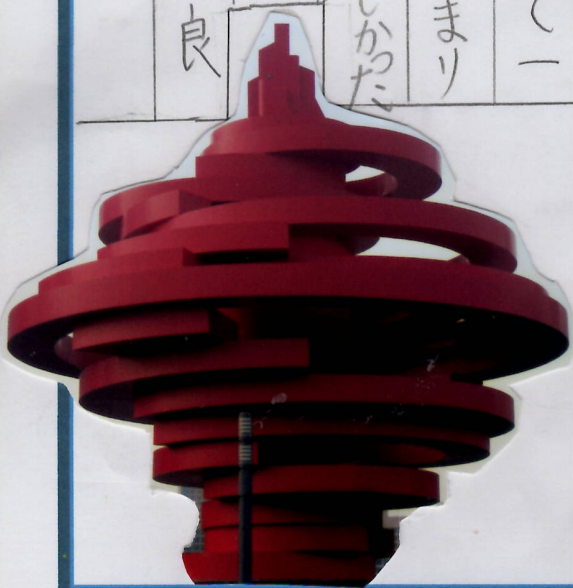
感がわきました

た。



# 感想

ぼくが、中国派遣研修団として、中国の青島市に行きたくさんの思い出を作ることができました。ぼくは、行く前に、「友達を五人以上作る」と目標を立てました。結果は、八人つくることができました。他国の人と友達になれるなんて一生のうちにあまりないからうれしかったです。五日間、いい経験ができて、良かったです。





# 令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【川中西小学校】

氏名【廣野 絢萌】

五四広場



○青島市について  
青島市に世界で2番目に長い橋がありました。バスの中からみただけでもとても長かったです。井=町を通るとすぐ思っていたのがビルがとても高いことですね。下関市とはちがいに、1軒家が

なくらいでした。高級車がトクさん走っていました。日本とはちがいで、座席以上が黄のカーブプレートです。町などでもイメージとちがいで、きれいで、ゴミは流せませんでした。中国はビニール袋のイメージですが、ゴミ袋なども袋が有料だったり、なごりしてとてもおどろきました。しかし下関と同じように海が近いという共通点や、海の方側では少し日本が見えたりと似ている所もたくさんありました。夜はと電をきかしてビルなどがライトアップされていてきれいでした。日本よりもバス各しかあつたり行く場所どこにも警備員がいるなど少し変わつていきました。また、おしゃべりのイベント会場だったので、現地の小学校に行ってみると、おしゃべりの授業やイベントのデザインなど、少しちがうこともありました。



ホテルのドアは回転式で、おとると止まるので、なれるまで大変でした。  
これはイベントのデザインで、中にはおもしろい形やアイデアがあった。

# 現地小学校訪問



2019/10/14

この学校では、ドラエモンの歌や写真にあるお茶を入れるとき歌いながら入れてくれたり、しゃみせんのようなものも入らせてくれた。お茶はとてもあまかった。



また、おんどのようなものからコップ作りもした。中国の子がコップのかざりを作ってくれたり、おみやげのプレゼントもつくってくれたりとてもやさしくてうれしかった。



2019/10/14



2019/10/15

この小学校は、中心で写真のようにカーンのようなものをしていたり、サッカー、書道、劇などをしていた。



2019/10/15

歌では、中国語で桜を歌ってくれたり、とてもはく力のあんなダンスなど、とても楽しかったです。パフォーを一緒に歌ってくれました。いっしょにけん命おどらうとおねをしてくれて、このときが一番来浪がたかと思いはれた。いい経験になりました。

この研修を通して私は、言葉が通じなくても表情やジェスチャーで伝わるんだなと改めて感じました。また、中国の友達はとてもやさしかったです。





# 令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【豊浦小学校】  
氏名【村脇 由奈】

## 部屋

部屋に入ってから、テレビなどは意味が分からず、アニメを見ていました。すると、何を言っているのかは分からないけど、絵が面白くて集中して見てしまいました。また、シャワーの出し方が分からず、他の部屋の友達に教えてもらいました。

中華料理



踊りを教わっている様子

## 驚いたこと

空港に着く前の飛行機からの中国の景色は下関とは全く違って、高い建物がたくさんありました。また、飛行機から降りても、日本の空気とは違う臭いでした。

中国の景色



## 食事

中国ならではの日本とは違う味見たりかいても印象に残っています。今まで食べたことのないような中華料理が目の前にたくさん出てきました。ホテルでの朝食は、床がまわっていて、1周するのに90分もかかるということに驚きました。色々な景色が楽しめるように工夫がされているのだなと思いました。

## 婦人児童活動センター

青島の子供達から、すてきな演技を見せてもらいました。少しだけ踊らせてもらったりして、中国の文化はすてきだなと思いました。その後、私達がいっしょに踊っていると、途中から手拍子をしてくれたのでうれしかったです。ワイドも楽しんでくれたので、私も楽しくなりました。私はあいさつも頑張りました。家で何度も練習した成果を出すことができました。とても楽しい時間でした。

# 在青島日本国領事館

# 買い物

在青島日本国領事館では、日本人の安全の確保を行っているそうです。安全に関する情報を提供したり、事件や事故にあった場合にサポートをしているそうです。また、日本人へのパスポートの発行や、中国人へのビザの発行などをしたりしていることが分かりました。

中国には、日本で売ってある商品も売ってあります。セブンイレブンで買い物をしたとき、レジで「お金を出せばいいのか分からず、適当に出しましたか、イオンでは少しだけスムーズにお会計を済ませることができました。また、商品をレジ袋に入れてくれないということに驚きました。

クラクションを禁止する標識



オオカミ



熊

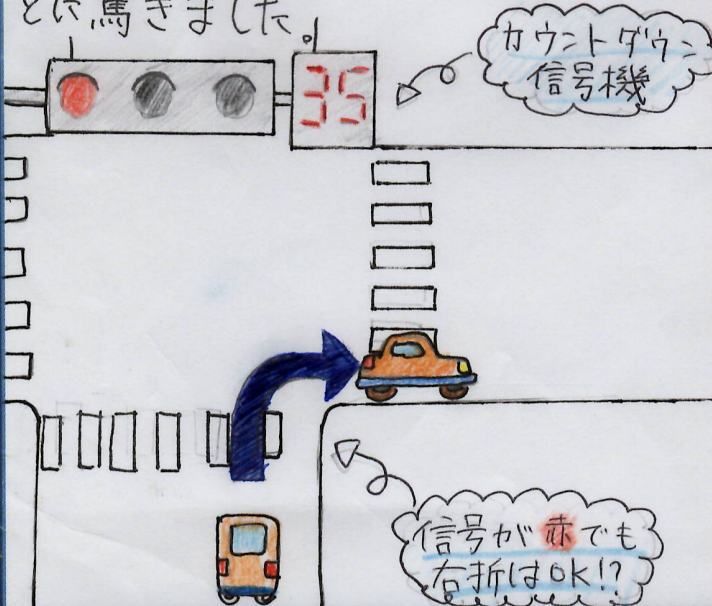
# 交通

# 水族館

日本よりクラクションが多く、クラクションを禁止する標識がありました。車両用の信号機はカウントダウン信号機で、カウントダウンが1になっていました。また、信号が赤でも右折はしてもいいということに驚きました。

イルカのショーを見たり、カメラがたくさんいたりして、とてもきれいでした。また、オオカミや熊などといった日本の水族館ではあまり見ることのできないような動物もいて驚きました。

# 最後に



私はこの研修で多くの方々に支えられました。まず家族。私の気持ちを最優先に考えてくれました。そして団長の金山先生、松本先生、吉田さんなどにもとても感謝しています。また、このメンバーで研修をすることができてとても嬉しかったです。研修で学んだことが決して無駄にならないようにこれから活かしていこうと思いました。